

東通村診療所に新しい研修医が来ました！

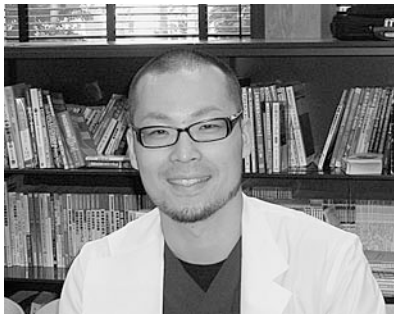


東通村診療所に10月1日より、小西隆行（こにしたかゆき）医師、小西恭子（こにしきょうこ）医師が赴任していらっしゃいましたので、ご紹介します。

お二人はご夫婦で、ともに横浜市立大学ご出身の31歳、4ヶ月になるお子様がいらっしゃいます。3月まで東通村診療所で研修するため、今回の赴任となりました。

まずは小西隆行先生。京都府京都市のご出身。趣味は、お子様が生まれてからは「子育て」にすっかりハマっているとのこと。他には、去年始めたゴルフ、ここだけの話で銀の玉（ばらしちゃいました）が…）だそうです。

医師を目指すきっかけについては「父が診療所を営む医師であり、特に『なれ』と言われた記憶はありませんが、一番身近な職業で魅力的に見えた」から。



今まで、神奈川、群馬、奈良で仕事をして、地域ならではの習慣や診療など、同じ医療でも少しずつ違って興味深いとのこと、東通村ではどんな発見があるか、楽しみにされています。

ちなみに、今回の研修で青森に来るきっかけになったことは、「妻についてきたら・・・？」だそうです。

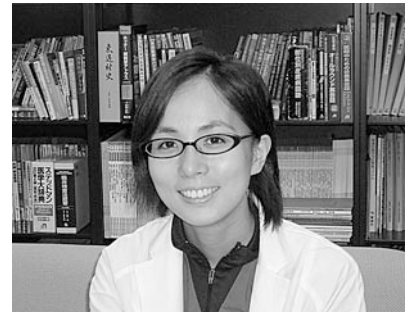
「半年という短い期間ですが、精一杯皆さんのお役に立てるよう努力します。小さいことでも、いまさらと思うようなことでも、

わからない事があればぜひ気軽に聞いてください。至らない点などがあるかと思いますが、宜しく願い致します。」とメッセージをいただきました（'u'）b

お次は小西恭子先生。神奈川県横浜市のご出身。趣味は「旅行、美術館に行くこともリラックスできて好きです。」とのことですが、「どちらもちびが生まれてからはおあずけ」だそうです。特技は、少し英語が話せることと、柔道。最近の世界柔道の日本復活に大興奮した！とのこと。

「何か人と関わる仕事をしたかと思っていて、誰かの役に立てる、一番想像しやすい仕事。実際、大変ではありますがとても楽しく、天職かも？と思います。（ちょっと言い過ぎでしょうか）」と謙遜しつつも、しっかりと医師を目指すきっかけをお伝えいただきました。

研修で青森に来たきっかけは、



幅広い領域をカバーする東通村の診療所の噂をよく聞いていて、せっかく研修するなら色々な場所ですしたいと思っていたとのこと。

「東通村のおいしい空気を吸いながら、地域の皆さんに少しでも貢献できれば嬉しいです。魚がさばけるようになったら、いいなあ。是非どなたか教えて下さい！」とのご希望。

「半年間という短い期間、慣れない医師で相談しにくいかもしれませんが、私なりに最大限に努力して、少しでもお役に立てればと思っています。東通の自然や、言葉や、文化や、寒さ（！）など、東通での新しい体験にわくわくしています。」と、

こちらにいらっしゃる前にお話されていました。

「仕事、育児を頑張っていて、楽しくやりたいと思っています。どうか宜しくお願いします。」とご挨拶でした。